

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AL165／人文情報・メディア学特論3 (Advanced Course in Digital Humanities and Media Studies 3)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	電子メディア基礎論		
担当者名 (Instructor)	菊池 信彦(KIKUCHI NOBUHIKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	ART1803	言語 (Language)	その他 (Others)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

データベースやプログラムの利用を通じて、人文情報メディア学について理解を深める。特に、文献や史料データの入手と整理方法とともに、それらを用いた表現／発信方法を実践的に学ぶ。

授業の内容(Course Contents)

OPAC、商用データベース、デジタルアーカイブを使った文献情報の入手、文献管理ツールによる情報の整理方法を習得する。また、人文学におけるデータ活用を見据え、デジタルアーカイブの構築実践と史料データの分析実践を行う想定である。

授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス、講義の概要と成績評価の案内、図書館とデータベースの使い方
2. 検索と文献情報の管理方法の習得
3. 文献調査法その1(文献情報を調べる)
4. 文献調査法その2(新聞データベースと電子ジャーナル)
5. デジタルアーカイブを調べる(国内編)
6. デジタルアーカイブを調べる(海外篇)
7. 文献リストを作る(文献情報の記述方法と出力)
8. デジタルアーカイブ実践 その1(Omeka)
9. デジタルアーカイブ実践 その2(Omeka)
10. Wikipediaを編集する その1
11. Wikipediaを編集する その2
12. 人文学資料データ分析の実践 その1(Gale Digital Scholar Lab)
13. 人文学資料データ分析の実践 その2(Gale Digital Scholar Lab)
14. 講義のまとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各回の実習内容を振り返り、特に授業時間内に終わらなかった実習課題については確実に実践、習得すること

成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(40%) / 中間レポート(Interim Report)(40%) / 出席および授業参加態度(20%)

テキスト(Textbooks)

講義中に適宜提示、案内する。

参考文献(Readings)

講義中に適宜提示、案内する。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

講義の進捗に合わせ、授業計画を変更する可能性がある。

また、この科目は「英語に関連する科目」です。使用言語は英語ではありませんが英語のテキストやデータベースを用いて授業を行うバイリンガルの設定となっています。使用する資料等については上記の「テキスト」「参考文献」の欄で確認してください。

注意事項(Notice)